

平成 30 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン サ イ ト
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 浅 井 一
コ ー ド 番 号 2172 札 幌 証 券 取 引 所 ア ン ビ シ ャ ス
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 高 橋 勇 気
電 話 番 号 011-233-2221 (代 表)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 8 月 10 日に公表した平成 30 年 6 月期（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）の通期業績予想並びに配当予想を修正することとしましたので下記の通りお知らせ致します。

記

1. 平成 30 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,114	19	18	12	7.48
今回修正予想(B)	2,083	16	14	4	2.49
増減額(B-A)	△31	△3	△4	△8	—
増減率(%)	△1.5	△15.8	△22.2	△66.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 6 月期)	2,007	18	21	4	3.02

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

修正の理由

売上高の下方修正理由は、広告・マーケティング事業の官公庁分野の受託とデジタルマーケティング分野の売上高は拡大したものの、新聞折込チラシ分野の減少額を挽回するまでには至らず、当初予想を下回る見込みとなりました。

営業利益については、広告・マーケティング事業における欠員の補充、介護福祉事業とケアサービス事業の新規開設事業所等における人材の確保などのための採用関連費用が増加したことにより、当初予想営業利益を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益の下方修正理由は、第 4 四半期に債権投資事業において債権回収ならびに新規融資の実行により、当初予想よりも好調であったことから、当該事業の利益が増加し、当該事業の連結子会社の税金費用が増大した結果、親会社株主に帰属する当期純利益が 4 百万円となる見込みになりました。

2. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (平成29年8月10日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 8.40	円 銭 8.40
今回修正予想	—	0.00	—	4.20	4.20
当期実績	—	0.00	—		
前期実績	—	0.00	—	8.40	8.40

修正の理由

配当につきまして、当社グループは株主の皆様に対する利益還元を重要課題として認識し、将来の事業展開と経営体質の強化に必要なための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

しかしながら、本日公表の業績予想の下方修正という結果を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、配当予想の見直しをあわせて行い、1株当たり配当金の予想金額を4.20円減配し、1株当たり4.20円に修正させて頂くことといたしました。

更なる成長に向け全力を尽くして参りますので、株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以 上